

くまがわ・明日の川づくり報告会 VOL.6

開催地：山江村山田地区

平成 19 年 5 月 28 日（月）、山江村山田地区において、「くまがわ・明日の川づくり報告会」が開催されました。

農村環境改善センターにて開催された同報告会には、約 10 名の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。

質疑の際には、下記のとおりご意見等をいただきました。

参加者数※

村内	9 名
村外	3 名

※参加者数は記名者数

住民の方々から頂いた主なご意見・ご質問

【河川整備基本方針の説明について】

- ・鹿の害で下草などがみな食べられてしまっている現状では、森林の洪水緩和機能は果たせないのではないか。
- ・基本高水流量は本当に 7,000 トン/秒まで必要か。
- ・基本高水と計画高水の差の 3,000 トン/秒はどうするのか。
- ・川内川で降ったような雨が球磨川水系に降ったら、具体的にどのような被害が生じるのか教えて欲しい。
- ・計画高水流量 4,000 トン/秒を超える洪水が過去に流れていることについてどのように考えるのか。
- ・みんなで検証しあう形で議論する場を設けることを検討して欲しい。

【球磨川の治水対策について】

- ・球磨川の掘削の結果、山田川の流れが速くなり、人吉層が露出してしまう問題が生じている。球磨川の掘削を進めていくことには問題があるので、支川の状況を確認しつつ球磨川の整備を進めて欲しい。
- ・排水ポンプが活躍していることも一因かもしれないが、近年水害がなくなっている。球磨川、川辺川流域の危険な地域の方々には申し訳ないが、万江川の整備を何とかして欲しい。
- ・ダムについては、農業の水が欲しいから賛成してきた。整備計画でダムが絶対必要というのはいかがかと思う。
- ・万江川において万江小学校の上下流など砂利を取ってもらいたい。山田川でも砂利が堆積しているのではないのか。
- ・ダムは必要である。ダムで貯めることにより被害が少なくて済む。
- ・水田などを利用して水を貯めるようにしたらどうか。
- ・25 年前、水害時に鶏を飼っていたところに手伝いに行ったが、糞や糞であふれ、鶏が目の前で死んでいくすさまじい様子を目のあたりにした。洪水時は濁流だけではなくゴミも流れてくる。病気も出る。その恐ろしさは経験したものでないと分からない。
- ・下流の住民の方はすごい怖い思いをしていると思う。ダムで安全にしてくれと思っているのではないのか。
- ・現場の状況をしっかりと把握した上で整備計画を作って欲しい。

【球磨川の環境について】

- ・堤防をつくる際には、川へ降りていける道など川と親しめる空間づくりを検討して欲しい。
- ・今は川に水が少ない。昔は水浴びするくらい水量があった。

【その他】

- ・上流域の水利権を返してもらえないか。水道、農業、林業、グリーンツーリズムなど様々な形で万江川を活用したいと考えている。
- ・大雨が降ると、U 字溝から川そして海へともすごい勢いで流れていってしまう。水は大切なので早くダムを作って欲しい。
- ・昨年は山江でも大雨が降ったが、断続的にふったため、避難命令を出そうとすると水位が下がるということの繰り返しだった。
- ・山田川の流域、小河川の問題等々については、誰に伝えたらよいのか。県にも報告会に参加して欲しい。

※ ご発言をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせて頂いています。

※ ご質問への回答については、アンケートで寄せられたご質問への回答と合わせて、後日 HP に掲載させていただきます。

